

船橋市立医療センター 代謝内科のご案内

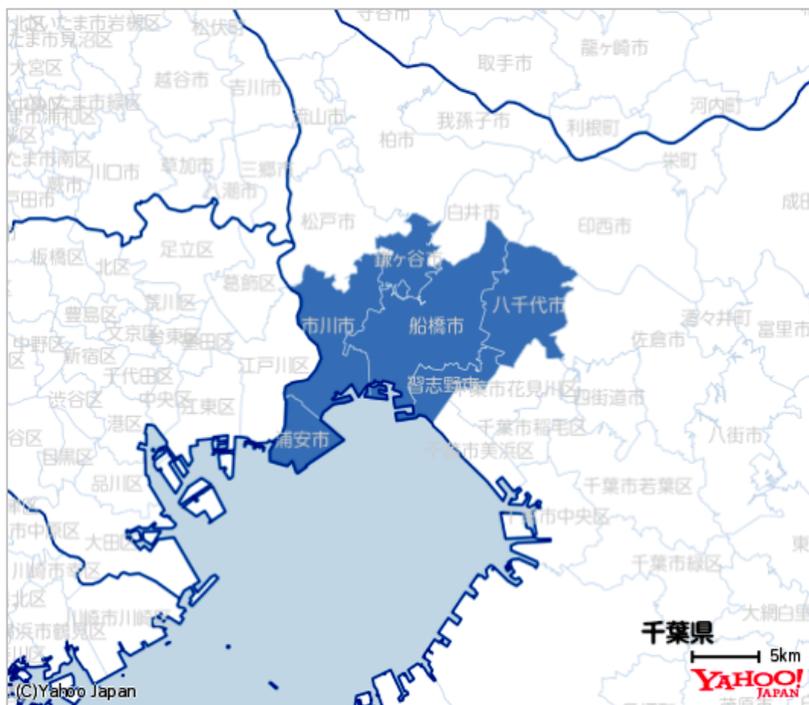


2019年

船橋市立医療センター 代謝内科

船橋市立医療センターについて

千葉県東葛南部医療圏（170万人）の3次救急病院 449床



2020年4月から日本内科学会の基幹施設です。

内科系6診療科体制

- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 腫瘍内科
- **代謝内科**
- 脳神経内科
- 腎臓・リウマチ膠原病内科

日本糖尿病学会の認定教育施設 I（代謝内科）、
日本老年医学会認定施設です。

代謝内科のご紹介



岩岡秀明部長を筆頭とする常勤医3名体制。

糖尿病チームを主体に糖尿病診療に取り組んでいます。

看護師7名(慢性疾患専門看護師1名、糖尿病看護認定看護師1名、CDE5名)、糖尿病担当管理栄養士CDE5名、CDE資格薬剤師2名、臨床検査技師1名です。

インスリン療法の絶対的適応の患者紹介が多く、教育入院が基本です。外来インスリン導入も増えていて、看護外来を月から金まで実施しています。

平成24年より糖尿病透析予防指導に力を入れています。

糖尿病チーム医療

入院治療

- 糖尿病教育入院パス
 - 7泊8日
- 入院糖尿病教室
- 個別栄養指導

外来治療

- 糖尿病専門外来
- 糖尿病看護外来
- 個別栄養指導
- 外来教室
 - 糖尿病教室
 - 腎臓病教室

平日
月～金曜日

糖尿病を集中的に学ぶことが可能な体制です。

診療局・内科系のご紹介



- 内科（消化器内科8、呼吸器内科7、腫瘍内科1、代謝内科3、腎臓内科1）で内科系当直を分担、毎朝カンファレンスして円滑に連携・診療にあたっています。
- 各科レジデントがおり、若手同士の交流が活発に行われています。
- 初期研修医1年生12名、2年生11名、若者の活気あふれる病院です。

情報発信を積極的に行っています



日本糖尿病学会総会での発表

- 2019.5 第62回日本糖尿病学会総会 DPP-4阻害薬服用中に水疱性類天疱瘡を発症した2型糖尿病の10例
- 2018.5 第61回日本糖尿病学会総会 SGLT2阻害薬が糖尿病患者の腎機能に与える影響についての検討
- 2017.5 第60回日本糖尿病学会総会 肥満2型糖尿病入院患者に対するGLP-1受容体作動薬とSGLT2阻害薬併用の経験

お気軽に見学に来て下さい。



船橋市立医療センターは、皆さんのお力を必要としています。
我々と一緒に、糖尿病診療をやりませんか？
質問、見学、いつでも歓迎いたします。

<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/metabolic-internal-medicine/index.html>